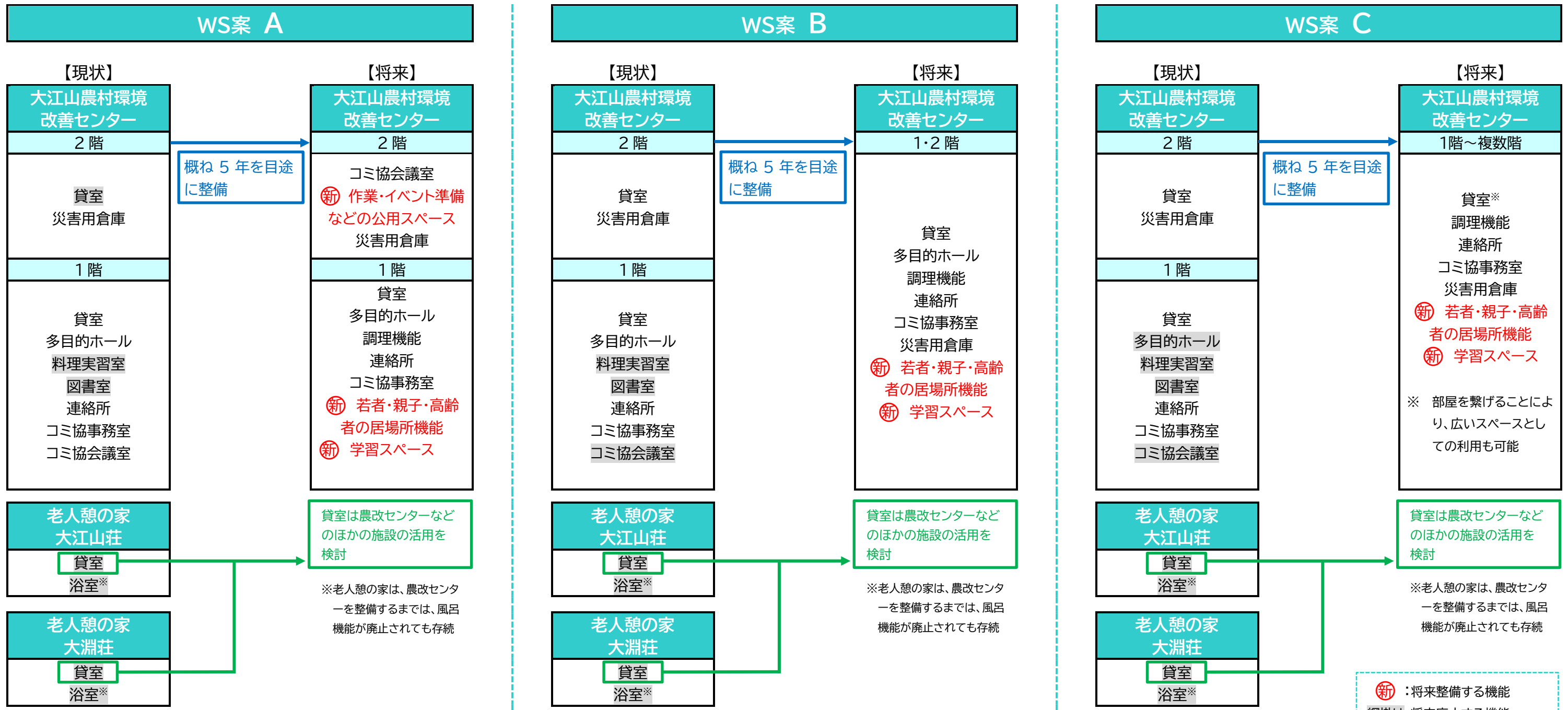


課題解決のためのコンセプトと再配置案(たたき台)

再配置案	WS案 A 現在の農改センターを最大限活用しながら、多世代交流を図る案	WS案 B 多目的ホールを有効活用しながら、利用に見合う多世代交流拠点をつくる案	WS案 C 農改センターを新たに建て替え、多世代交流拠点をつくる案
施設配置図			
農改センター	◎現状の施設規模のまま存続	◎多目的ホールを残しながら、利用に見合う規模で整備	◎地域の要望に配慮しながら、他の地域のコミュニティ系施設の規模に合わせて建て替え
整備方法	・現状の施設規模のまま大規模改修	・多目的ホール:大規模改修、その他:大規模改修または建て替え ・施設規模を現状の約 2/3 程度(※)に整備 ※【施設規模イメージ】貸室 2 部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各 1 部屋程度)と以下の機能を加えた整備	・施設規模は半分以下程度(※)とし、現施設を取り壊し建て替え ※【施設規模イメージ】貸室 3~4 部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各 1~2 部屋程度)と以下の機能を加えた整備
多目的ホール	・現状の施設規模のまま存続		・廃止(現施設の多目的ホールは取り壊すが、建て替え後、施設の部屋を繋げるなど、広いスペースとしての利用は可能)
バリアフリー	・全ての貸室を1階に集約、トイレの整備、段差解消など	・トイレの整備、段差解消などのほか、必要に応じエレベーターを設置	・バリアフリーに配慮して整備するほか、必要に応じエレベーターを設置
調理機能	・利用率の低い料理実習室は、多用途に使える貸室へ転用(非常時やイベントなどで活用できるよう調理機能を一部存続します)	・非常時やイベントなどで活用できるよう調理機能を整備	
図書室	・図書室を廃止 ・学習スペースの整備		
多世代交流	・親子や高齢者など、予約不要で誰もがくつろげるスペースの整備		
災害対策機能	・災害用倉庫の設置		
外構	・駐車場などの外構の整備		
連絡所	・存続		
コミ協事務室	・存続		
老人憩の家	○老人憩の家は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続(農改センターが整備されるまでは、風呂機能が廃止されても、部屋の貸出を継続) ・老人憩の家廃止後、農改センターなどを活用(農改センター:誰でもくつろげるスペースを整備、バリアフリーに配慮)		
ひまわりクラブ	○存続(現状の施設のほかに、小学校の特別教室などを開放し、できるだけ広いスペースを確保)		
小・中学校	○存続(学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、「新潟市小中学校の適正配置基本方針」に基づき、必要に応じて別途検討)		
検討ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>農改センターの施設規模を生かしながら、新たな機能を追加</li> <li>農改センターの効率的な使用(利用率の向上)という面で、課題が若干残る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ホールが維持されるので、地域イベント等の実施が可能</li> <li>利用に見合う施設規模とするため、貸室が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模に制限はあるが、建物仕様をゼロベースから検討可能</li> <li>多目的ホールを廃止するため、地域イベント等の会場を新たに検討する必要あり</li> <li>利用に見合う施設規模とするため、貸室が減少</li> </ul>
	・老人憩の家は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続(農改センターが整備されるまでは、風呂機能が廃止されても、部屋の貸出を継続)		

## ■ 現状と将来の機能イメージ



大江山農村環境改善センターの延床面積比較

